

第3学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「小さな自分」のお気に入り(造形遊び)

～こびとになって やってみよう!～

2 題材について

もしも自分が小さくなったら、世界はどんな風に見えるのだろう。いつも手にしている物が巨大に見え、驚きと新鮮さを覚えるに違いない。また、普段は入れないところに入ったり、乗れない物に乗ったりと、楽しい活動ができるだろう。本題材は、そういった想像力を働かせ、「小さな自分」の目線でお気に入りの場所を探したり、身の回りの材料を使って飾ったりする造形遊びである。

本題材は学習指導要領の目標(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」及び(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」を受けて設定している。また、この目標を受け、内容A表現の(1)ア「造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。」となっている。普段何気なく見ていたような場所も「小さな自分」になってよく見たり、その場所に働きかけて作りかえたりすることで、これまで気付かなかった新しい発見をするのではないだろうか。また、見付けた場所やそこにあるものを生かしながら、お気に入りの場所につくりかえる活動は、児童にとって願いを形にできる楽しい活動になるだろう。

本題材は、「こびとになって、小さいからできることをやってみよう。」という設定とした。まずは「小さな自分」の目線で校内の場所を見て回って、「小さな自分」がどこにいると面白いかを考えながらよい場所を探す。そして、選んだ場所でしたいことを考えて、場所に合ったポーズで写真を撮り、「小さな自分」をつくる。さらに、選んだ場所に「小さな自分」を置いてみて、より楽しい場所になるように作りかえていく。その様子をギガタブで撮影して鑑賞し合い、互いのよさを見付けていく活動につなげていく。学習後には、撮影した画像を印刷して製本し、「3年1組 こびと図かん」をつくることで成就感を味わわせたい。

本題材では、校内の様々な場所で活動を行うので、でき上ったお気に入りの場所を、児童自身がギガタブを使って写真を撮り、より効果的に鑑賞し合うことで、互いのよさを伝え合う学習活動ができると考える。

3 題材の目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
○身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ○場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについて	○場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ○自分たちが作りかえた場所の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方など	○進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

<p>ての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。</p>	<p>について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p>	
--	--	--

4 指導計画(5時間扱い)

○活動の流れを理解し、見通しをもつ。

「小さな自分」の目線で場所を見て回って、よいと思うところを探す。……1

○選んだ場所に置く「小さな自分」つくる。……1

○選んだ場所に「小さな自分」を置いてみて、より楽しい場所になるように作りかえていく。ギガタブで撮影し、友達と見合っ感想を伝え合う。……2

○自分たちの活動を鑑賞し合い、思ったことや感じたことをカードに記入したり、意見交流したりし、自分や友達のよさに気付く。……1(本時)

○出来上がった「3年1組 こびと図かん」を見て、成就感を味わうとともに、「『小さな自分』が気に入りそうな場所を家の中でも見付けてみよう。」など、普段の生活でも視点を変えて見ることを楽しめるような声かけを行う。……(時間外)

5 材料と用具

材料	用具
段ボール セロハンテープ 身辺材	ギガタブ デジタルカメラ
色画用紙 写真印刷用紙 画用紙	ラミネーター カッターナイフ
ストロー ラミネート用フィルム	カッターマット ペン はさみ
粘着テープ	のり

6 本時の指導

(1) 目標

○自分や友達がつくりかえた場所の面白さを味わうことができる。(知識・技能)

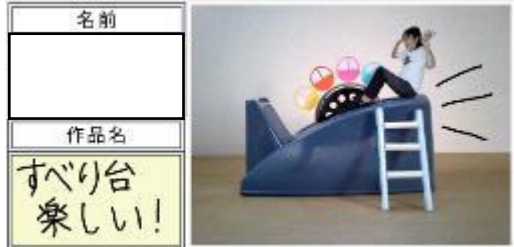
○自分たちの活動を鑑賞し合い、思ったことや感じたことをワークシートに記入したり、意見交流したりすることができる。(思考・判断・表現)

(2) 展開(5/5)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
<p>1 「小さな自分」のお気に入りの場所の工夫を伝え合い、よさを見付け合う活動を確認し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○これまでも作品を見合う活動は行ってきたが、本時では、より多くの友達の作品のよさを見付けることを伝え、活動への意欲をもたせる。</p>	<p>・ギガタブ</p>
<p>自分や友だちのお気に入りの場所のすてきなところを見つけよう。</p>		

2 前時の自分の画像を見て、紹介したい画像を選ぶ。

3 自分の作品の画像にテキストでタイトルを付け、提出する。



4 グループで作品を紹介し合い、よさや面白さを見付け、「すてきだねカード」に書いて伝え合う。

【作品を振り返る視点】

〈場所の見立てのおもしろさ〉

- ・ スポンジをトランポリンに見立てていて面白いね。

〈つくりかえの工夫〉

- ・ セロファンを使って、緑色の光が差し込むようにしてすてきだね。

〈写真の撮り方〉

- ・ 階段の手すりのすべり台を、下から撮ったから、本当にすべっているように見えるね。

5 クラスみんなの作品を見る。

6 友達の作品のよかったところを発表する。

- ・ 小さな○○さんが、植木鉢の中でくつろいでいるのがいいなと思いました。
- ・ ストローではしごを作っていて、すてきでした。
- ・ 人によってお気に入りの場所が違って面白かったです。

○様々な高さや角度、距離から撮った画像の中から、一番面白いものを選ぶよう助言する。

○自分の作品のよさや面白さが表れるようなタイトルになるように助言する。

○自分の作品に対して、肯定的な感想をもてるように、教師が作品のよさや面白さ、頑張り等を積極的に伝えるようにする。

○感想の伝え合いの進め方を示し、話したり聞いたりする活動がスムーズに進むようにする。

○作品のよさや面白さを見付けることができるように、作品を振り返る視点を与える。

◆友達と作品を鑑賞し合い、よさや面白さを伝え合うことができる。(思考・判断・表現)

○互いの作品のよさや面白さを認め合い、伝えることができたことを賞賛し、【人とかかわる力】のマグネットを貼る。

○ギガタブで全員の作品が見られるようにスライドショーで流す。

○今まで見たことのない友達の作品を見て、よさや面白さを見付けるよう助言する。

○友達の作品について、視点をもとによさや面白さを見付け、発表するように助言する。

○友達の作品のよさを見付けられたことを賞賛し、【よさに気づく力】のマグネットを貼る。

・話し合いの進め方の掲示物

・視点が書かれた紙

・すてきだねカード

・マグネット

